

UNISON 母校訪問プロジェクト 参加報告書

東海大学 工学部 学部3年 有松 千良

本年、東海大学学生ロケットプロジェクトにおいて母校訪問を1度行った。

今回は2007年10月6日(土)東京都八王子市にある東京純心女子学園に母校訪問を行った。講演は放課後の時間を利用して、中学生、高校生の希望者に対して行った。当日は中学生、高校生合わせて13名、また、先生方も参加して下さった。講演内容は訪問者の自己紹介から始まり、TSRPの紹介、現在の宇宙開発(主にロケット)、宇宙についての話を行った。講演終了後に質問の時間を設けると、学生を始め先生からもロケットについての質問をいただいた。また、その後も宇宙開発についての話や大学の選び方についての話などを訪問先の学生や先生と直接行う機会があった。講演の途中には、普段の生活においてあまり宇宙と触れる事の少ないためか、専門的な話や言葉にはついていけず少し飽きてしまっている様子も見受けられた。しかし、実際にロケットの画像や動画、クイズを行うなどの参加型のイベントを取り入れたときは意外にも学生は素直な反応を示し、この事は私たちにとっても感心した。



fig.1 東京都私立東京純心女子学園



fig.2 授業の様子 (M1 武内)



fig.3 クイズ (B3 有松)



fig.4 質問時間



fig.5 授業後の様子 (B2 神保)

今回、高校生と中学生を対象に母校訪問プロジェクトを行った事で、宇宙開発などに触れる機会を作れた事が良かった。こういったプロジェクトを通して、教科書に載っている事がどのように活かされているのか、また、自分たちの身近に使っているものがどのような技術から作られているのかを知る事ができるような内容であると、訪問先の学生にとって有意義なものになると思った。また、教科書だけでは学べないような体験をする機会を持てると面白いだろう。

今後も様々な学校を訪れる事で少しでも宇宙を身近に感じ、興味をもってくれる学生が増える事を期待したい。